

東京都・杉並区におけるコロナ対策を前へ!

東京都

高齢者施設等でPCR検査を全額補助

高齢者・障がい者施設を対象に、重症化リスクの高い利用者や職員のPCR検査の費用を都が全額補助します。

高齢者へのインフルエンザワクチン無償化

65歳以上、もしくは基礎疾患のある60～64歳の都民を対象に、今年度のインフルエンザワクチン接種が無料となりました。

中小企業制度融資を充実

感染症対応にかかわる、都の中小企業制度融資の2020年度の融資目標額が2兆5000億円から3兆8000億円に引き上げられました。

杉並区

PCR検査キャパシティの拡充

“PCR検査バス”など1日あたり約450件まで検体採取能力を拡充。区独自の検査システムを整備し、緊急対応に備える体制を構築しました。

保健所相談窓口を強化

「杉並区受診・相談センター」に従事する保健師・看護師を増員し、対応能力をアップしました。

区立小中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレットPCを配備

児童・生徒総数約2万8000人分のタブレットPCを順次各校に配備。オンライン学習の環境を整備します。

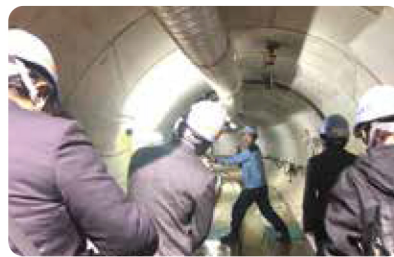


いよいよ340,000m³の調節池を善福寺川に新設!

浸水被害“ゼロ”へ 水害対策を推進

東京都の2021年度予算要求に「善福寺川上流調節池 基本設計」が盛り込まれ、長年の課題だった上中流域の浸水対策に大きな

一歩が踏み出されました。貯留量約34万m³の大規模な計画で、今後、都と区で協議が行われ、設置に向けて動き出します。



都議会の経費27億円を削減! 先頭に立って「身を切る改革」を断行

都議会議員の報酬を2割カット、公務活動費の減額、費用弁償制度の

廃止など、この4年間で都議会の経費を約27億円削減しました。



コロナに立ち向かう!

感染拡大を防止し、生命と暮らしを守ります

新型コロナウイルスが拡大する中、公明党は、東京都議会、杉並区議会において、コロナ対策の強化・充実を訴え続けてきました。希望の未来に向かって、皆さまの生命・健康、そして暮らしを全力で守るため、挑戦し続けてまいります!

公明党杉並総支部 総支部長
東京都議会議員 まつば多美子



医療現場を守り医療崩壊を食い止める!

コロナ専用病院を設置 医療体制を強化し、感染者急増に備える

東海大学医学部附属東京病院と旧都立府中療育センターをコロナ専用病院として開設。酸素投与が必要な中等症や、軽症の患者を受け入れています。



医療機関への財政支援等の補助

発熱外来センターの設置や診療所に対する補助など、杉並区独自の財政支援をいち早く行っています。



東京の未来のために挑戦を続けます

1962年生まれ。創価大学経済学部を卒業後、国家公務員等を経て2005年の都議会議員選挙で初当選(現在4期目)。公明党中央幹事、公明党東京都本部女性局長。

都議会議員 まつば多美子

たまちゃんネット
<http://www.tamichan.net/>

まつば多美子はLINE@でも情報を発信しています。QRコードで簡単に登録できますので、是非ご登録をお願いします。



LINE@